

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第201号	氏名	柴田伊津子
学位審査委員	主査	江石清行	
	副査	近藤宇史	
	副査	丹羽正美	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、Rho キナーゼ阻害薬ファスジルの心筋スタニングに対する保護効果を明らかとし、投与のタイミングについて検討するもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ブタ40匹を用い、12分間の冠動脈遮断、虚血による心筋スタニングモデルを作成し、Rho キナーゼ阻害薬の投与の仕方により4群に分類し、スタニング後の局所心筋収縮力の回復過程を、多くの精度の高いパラメーターで検討できるようデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、Rho キナーゼ阻害薬の心筋スタニングに対する保護作用が虚血直前、直後の投与によって明らかとなり、またその作用が血管拡張作用ではなく PI3-kinase-Akt 経路の活性化を介する作用であることが示唆された。</p>			
<p>以上のように本論文は虚血心筋の保護、治療の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			